



## 【m-HANDS 2020 第1回の報告】

中国ブロックでの指導医養成の報告

出雲家庭医療学センター大曲診療所 藤原和成

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

## 【m-HANDS-FDF】

(modified - Home and Away Nine DayS - Faculty Development Fellowship)

過去5年間にわたって継続してきた中国ブロックの指導医養成コースです。今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、オンライン開催となりました。これまで全5回であったコースを、1回の開催時間短縮に伴い、全8回のコースとして再編し、実施しています。

今年度も、JPCA-MLなどで募集して中国地方の指導医6名が全8回のコースに参加中です。6名はそれぞれ3人ずつのチームを作り、様々な課題に取り組んでもらっています。

以下に第1回に参加してくれた指導医からの報告の一部を掲載します。

2021年度も引き続き開催を予定しています、ご興味のある方はぜひご連絡下さい。

### 〈目的〉

中国ブロックの指導医の養成とプログラム運営の質向上を通して、プライマリ・ケアの普及と発展をめざす

### 〈対象〉

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を修了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

### 〈アウトカム〉

### Core Competence : Adult Educator(成人学習支援者)

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる  
学習者の学びを促進するための理論と技術を適切に用いることができる

参加者と講師による学習共同体の形成を勧め、ブロック内の指導医ネットワークを作る  
机上のプログラム作成だけでなく、各現場での仕組みづくりや教育チーム形成ができる  
総合診療の魅力やプログラムの魅力を効果的に伝えられる発信力や求心力を発揮できる  
ツールの活用や工夫などで独創的で質の高い遠隔教育ができる

第1回 オンライン開催 2020年8月22日

## 【オンラインツールの使い方】

m-HANDS をオンラインで受講するときに必要になる心構えやスキルについてチームで考えました。オンラインでの学習の場に参加するコツとして「ネット環境やオーディオ機器など学習環境の整備」「ネットエチケット

を意識する（10分前ログイン、オーバーリアクション、事前にツールの使い方を習熟）」「卒業生から話をきき目標を立てておくこと」などが挙げられました。オンラインでの学習の場を企画するコツとして、「事前の内容・概略の伝達」「発言のルールを設定」「講師とは別にパソコンに精通したファシリテーターが必要」などが挙げられました。模擬ティーチングの企画では、オンラインの強みを生かしたプログラム作りを心がけていきたいです。（上春美奈）

### 【青年の主張 2020】

参加者はあらかじめ、説得、共感、賛同を得ることにより何らかの具体的な行動を引き起こすことを目的に医学や仕事意外のこと」について3分間の自己紹介プレゼンテーション動画を作成しました。当日はその動画を供覧・評価しあいました。

グループワークでは、①プレゼンテーションの成功とはどんなこと？②お互いの動画で気づいたこと③オンラインプレゼンテーションの難しさについてディスカッションしました。短い時間で相手の興味をひき、行動を促すにはできるだけポイントを絞り、必要な情報を吟味し無駄をそぎ落とすことやインパクトを与える工夫の重要性を共有しました。今後、より短い30秒プレゼンも待っているようですがどうなることやら…。(紙本美菜子)

### 【FD 概論&Employability】

これまで受けた教育で印象的だったものについて想起し、成人教育理論に基づく良い教育者とはどんなものかについて意見交換を行った。FDは定義が難しい概念だがカバーする領域は多岐に渡り、広義には、研究、教育、社会的サービス、管理運営の各側面の機能の開発であり、それらを含む組織体と教授職の両方の自己点検・評価を含んでいる。FDのひとつであるm-HANDSの特徴として、学習共同体としての特性、教育ポートフォリオの作成が挙げられる。また、Employabilityとは何かについて学び、その能力を高めるために変えることができる部分（特定の知識や技能に加え、各個人が保持している思考特性や行動特性）を鍛えることが必要である。（菊地由花）

### 【フィードバックと5microskills】

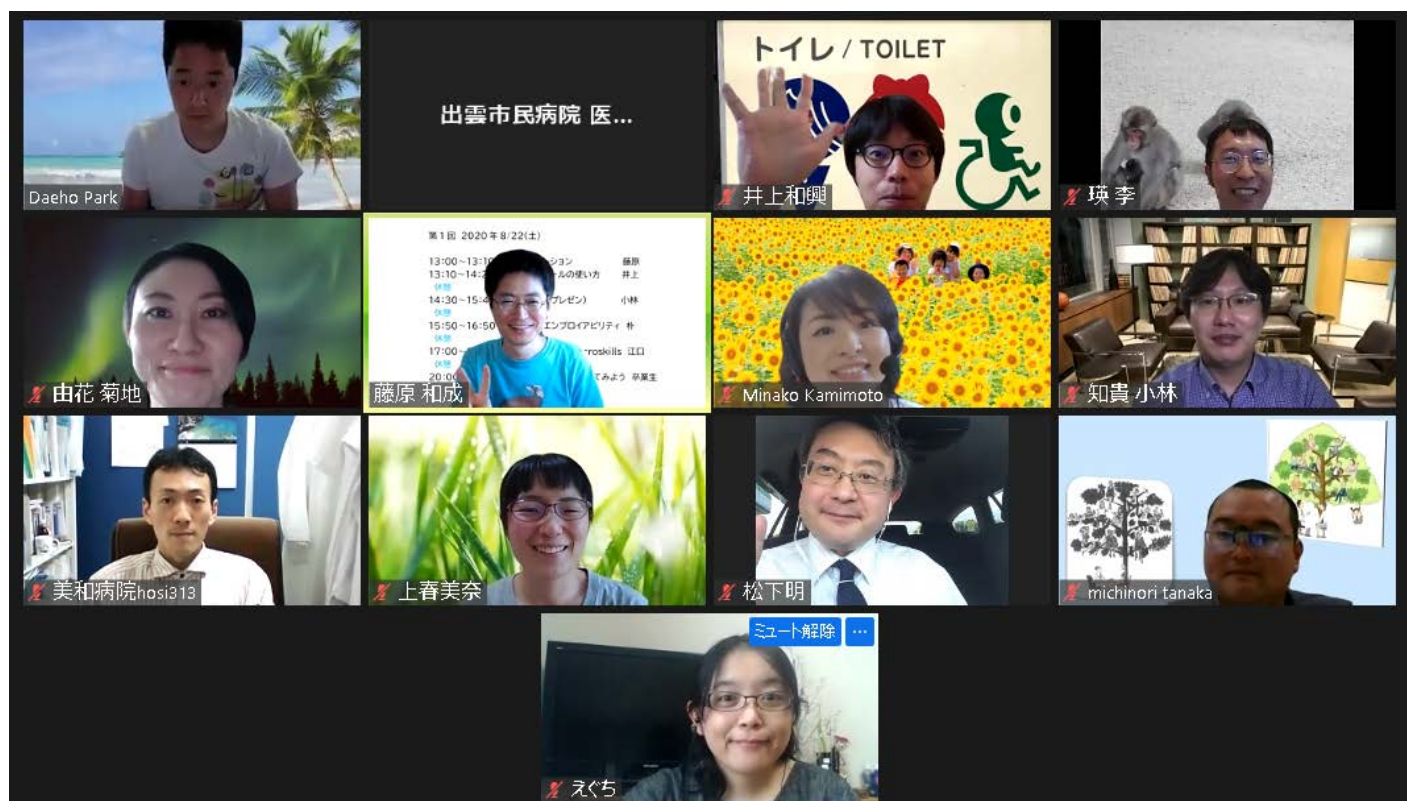
事前課題もわかりやすくまとめてくださり、実践でどう活かせる部分はどこかがとてもわかりやすかったです。実際の自分のやり方とマッチするところとそうではないところを考えながら、学習者同士でやることで深く理解できました。実際にやってみようと思える勉強会でした。（田中道徳）

〈今後の予定〉

第2回 オンライン開催 9月26日（土）

第3回 オンライン開催 10月24日（土）

第4回 オンライン開催 11月28日（土）



### 【第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 開催報告】

大会長：田妻進（JA 広島厚生連尾道総合病院 病院長）

日時：2020 年 7 月 23 日～8 月 31 日 オンデマンド配信

8 月 29 日・30 日 ライブ配信

テーマ：プライマリ・ケアと総合診療～学際的充実と伝承～

7 月 23 日から 8 月 31 日の日程で第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会を開催いたしました。広島の地でみなさまをお迎えすることを楽しみに準備をしておりましたが、今回の学術大会は新型コロナウイルス感染症の影響で広島での現地開催を断念し、完全 WEB 開催という前例のない学術大会となりました。完全 WEB 開催というはじめての試みではありましたが、最終的に 4600 名を超える参加登録をいただき、多くのみなさまのご協力とご支援により無事に全日程を終了することができました。以下、田妻進大会長からの挨拶文を転載させていただきます。

### 第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会を終えて

～New-normal への道しるべ～

大会長 田妻 進

(JA 広島厚生連尾道総合病院・病院長/広島大学大学院客員教授)

皆さま、**第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会**にご参加いただき誠にありがとうございました！

COVID-19 感染対応に伴い広島での現地開催を断念して、完全 WEB 開催となりました【第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会】は、7月23日（木・祝）にWEB配信第一弾を開始し、第二弾、第三弾と配信プログラムを積み増してまいりましたが、会期大詰め8月29日、30日両日のライブ配信までに、おかげさまで4600名を超える参加登録者をお迎えすることができました。50日間にわたりオンデマンド配信ならびにライブ配信（その後の追加オンデマンド配信）をご視聴いただき、9月11日をもって全日程・全企画を終了させていただきました。図らずも完全Web開催というNew-normalな学術大会となりましたが、企画・準備・運営に関しまして大変多くの皆さまに強力にご支援いただき無事に終了することができましたこと、加えて予想を超える多くのご参加を賜りましたことに、関係者を代表して心より感謝申し上げます。

ありがとうございました！！

本大会がこれからのNew-normalへの道しるべとなることを願っています。

報告：広島大学病院 総合内科・総合診療科 小林知貴

#### 【日本プライマリ・ケア連合学会島根県支部学術集会】

【実施日】令和2年8月8日（土）10:00～12:00

【講師】島根大学医学部総合医療学講座  
教授 牧石 徹也 先生

【講師】国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター  
センター長 大曲 貴夫 先生

【参加者】45名

第1部は、「学生・若手医師に総合診療の魅力をいかに伝えるか」をテーマに、7月教授に就任された牧石先生にお話し頂いた。用途に応じSNSを使い分けるスマホ世代への臨床教育として、指導者側の「伝える工夫」が必要であると話された。継続的な発信とコンテンツ選びが重要で、ビジネス用に開発された情報共有プラットフォームをこれからの指導者は使いこなしていく必要があると話され、貴重な示唆を得た。

第2部は、「COVID-19」をテーマに東京都のコロナ対策の助言者である大曲先生にお話し頂いた。国内の発生動向と特徴、治療方法、クラスター対策、ワクチン開発等最も先進的な知見を持たれる先生のお話には、講演終了後にも多くの質問が寄せられ活発な議論が交わされた。

【令和2年度総合診療専門医プログラム説明会 (Web 開催)】

【実施日】 令和2年8月8日 (土) 13:30~16:30

【講師】 雲南市立病院 地域ケア科 坂口 公太 先生

【参加者】 35名

第1部は坂口先生に「専攻医としての実践：自分で考え自分で決める」と「経営大学院での学び：越境学習」についてお話し頂いた。

その内容はご自身の経歴を、「Planned Happenstance Theory」や「経験学習モデル」を理論背景に述べられ、「偶然に引き寄せられて今がある」「経験と共に視座が高まってきた」等興味深いものであった。キャリア形成における偶然もまた先生が主体的に行動される中に自ら創り出されたものであり、ステップアップの機会に変えられていることに感嘆した。

第2部は、島根県内9病院に総合診療専門研修プログラム内容を説明頂いた。このプログラム説明会を機に、一人でも多くの医学生・初期研修医が総合診療専門医の道を志してもらえたら幸いである。